

# Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

## 2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社  
東証スタンダード 6836

2023年8月4日

# ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設立：1993年3月

決算期：3月

上場：東証スタンダード 6836

資本金：1億円

社長：鈴木 友康

売上：9億9,475万円（2023年3月期）

社員数：33人（2023年6月30日現在）

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

## 当社ミッション

### 「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

# ぷらっとホームの事業領域

当社ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

**PHYSICAL WORLD**



あらゆるデバイスをインターネットへ  
取扱商品（センサー）の拡充

コア・コンピタンス  
**IoT事業**

**CYBER WORLD**



デバイス管理・リモート管理  
データ流通・伝送基盤

より利便性の高い社会の実現へ  
地方公共団体・電力会社  
交通・物流・公共施設

より豊かなくらしづくりの実現へ  
ビルマネジメント・ビル設備・照明システム  
自動車・エネルギー・各種製造業・建設業

より安全な社会の実現へ  
地方公共団体・教育機関・医療機関  
警備・保険・セキュリティ

当社が培ってきたIoT事業を核に周辺領域へ事業を拡大

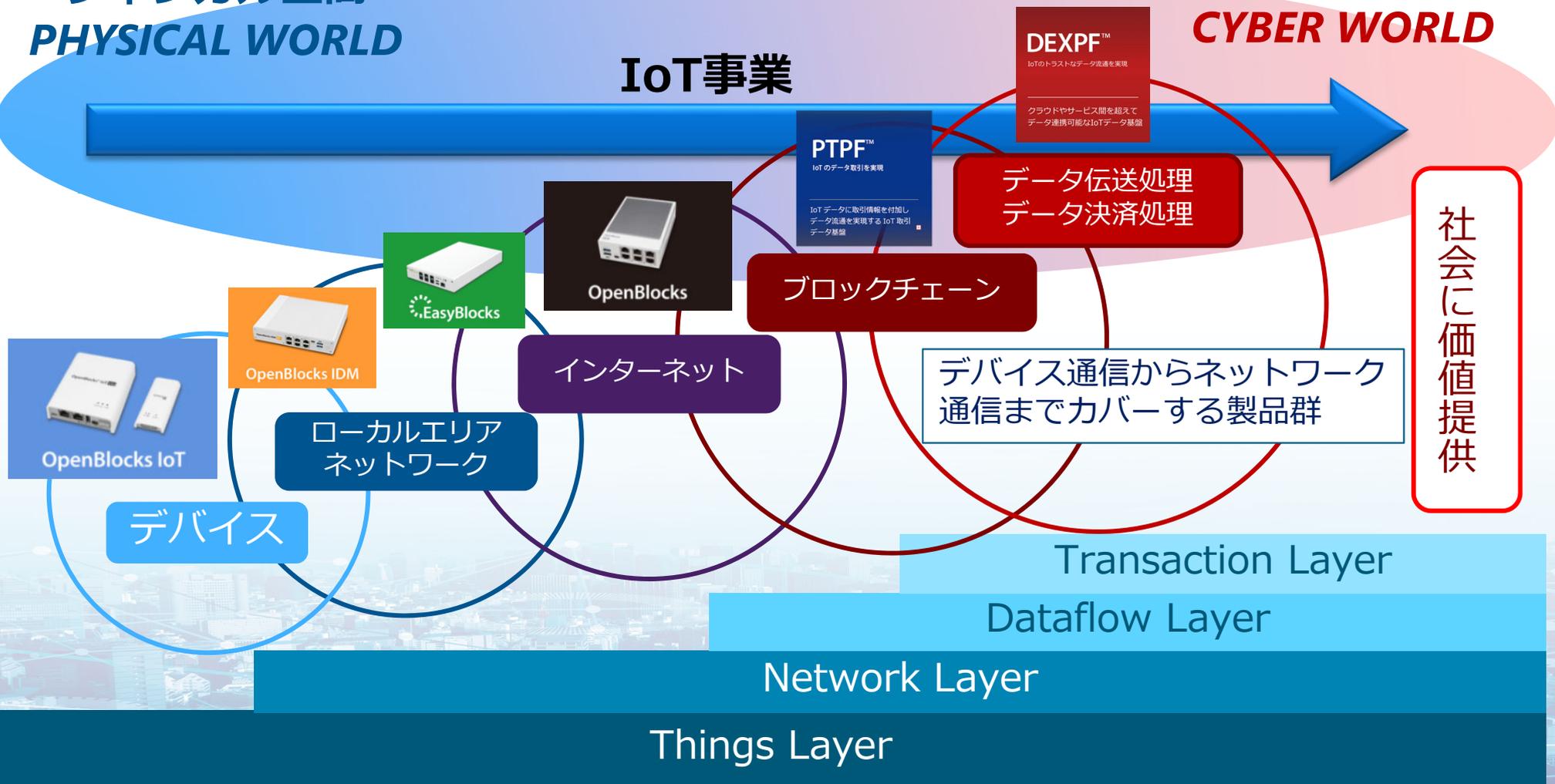
# ぷらっとホームの事業領域

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

フィジカル空間  
PHYSICAL WORLD

サイバー空間  
CYBER WORLD

IoT事業

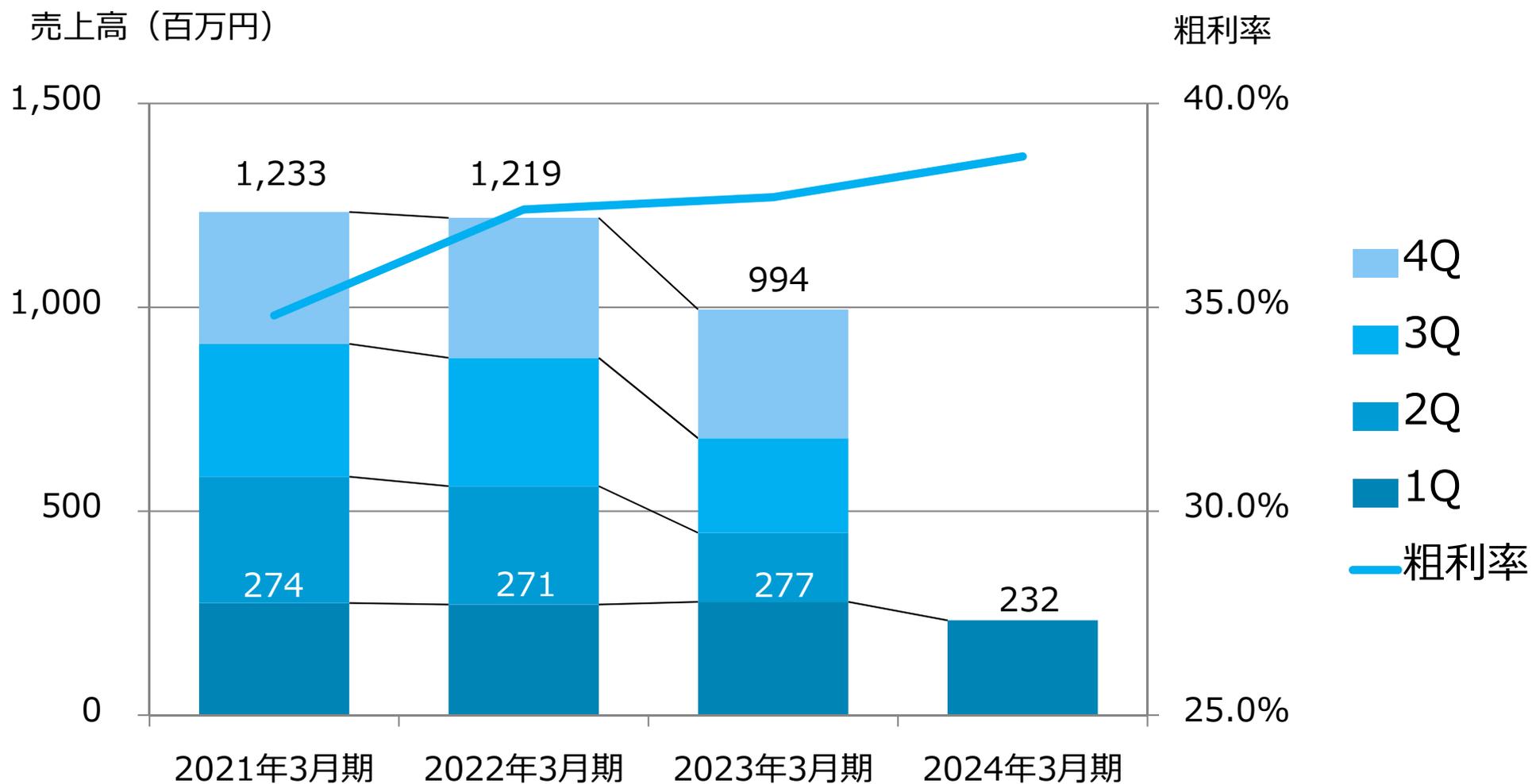


# Financial Results 2023

---

## 2023年度の業績

# 売上高の推移



# 品目別の状況

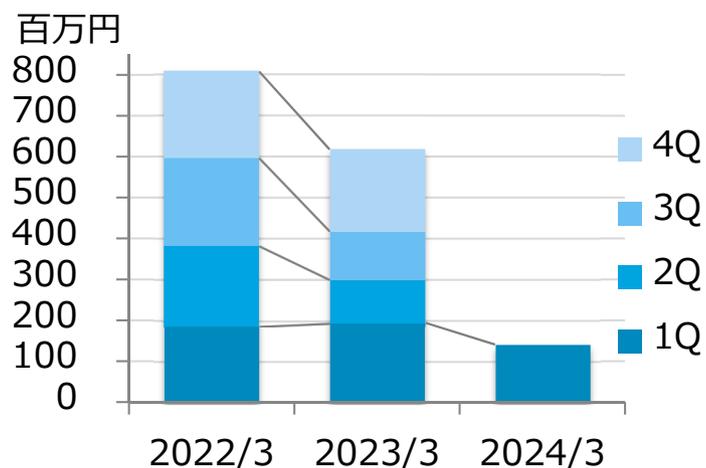
売上高	2023年3月期 1Q		2024年3月期 1Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>277</b>	<b>100.0</b>	<b>232</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 45</b>	<b>△ 16.3</b>
自社製品コンピューター	162	58.5	114	49.2	△ 48	△ 29.6
コンピューター関連商品	54	19.7	64	27.9	10	18.5
サービス・その他	60	21.9	53	23.0	△ 7	△ 12.1

粗利益	2023年3月期 1Q		2024年3月期 1Q		前年同期比	
	金額	粗利率	金額	粗利率	増減額	増減率
<b>粗利益</b>	<b>103</b>	<b>37.4</b>	<b>90</b>	<b>38.7</b>	<b>△ 13</b>	<b>△ 13.3</b>
自社製品コンピューター	53	33.0	42	37.2	△ 11	△ 20.6
コンピューター関連商品	13	24.1	14	22.6	1	11.2
サービス・その他	37	61.1	32	61.5	△ 4	△ 11.5

(単位 百万円未満切捨、%)

# IoT事業の推移

## IoT事業の売上高



	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	
	1Q	1Q	増減額	増減率
売上高	金額 194	金額 140	△ 53	△ 27.5
マイクサーバ-製品	164	114	△ 49	△ 30.1
IoT事業サービス	30	25	△ 4	△ 13.8
売上総利益	82	67	△ 14	△ 18.0
粗利率	42.4%	48.0%	+5.6p	

(単位 百万円未満切捨、%)

半導体不足による部材供給の滞りが続いていることに加え、前年同期に実績のあった大口出荷の減少により前年同期に比べ大きく減少

# 損益計算書

	2023年3月期 1Q		2024年3月期 1Q		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	277	100.0	232	100.0	△ 45	△ 16.3
売上総利益	103	37.4	90	38.7	△ 13	△ 13.3
販管費	123	44.5	122	52.6	△ 1	△ 1.1
営業利益	△ 19	△ 7.1	△ 32	△ 13.9	△ 12	—
経常利益	△ 20	△ 7.4	△ 32	△ 13.9	△ 11	—
当期純利益	△ 21	△ 7.7	△ 34	△ 14.9	△ 13	—

半導体部品の供給不足の影響が続き、出荷の遅れを回復するには至らず、売上高は大きく減少

前事業年度に引き続き節減

(単位 百万円未満切捨、%)

# 貸借対照表

	2023年3月		2023年6月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	225	31.5	282	40.5	57	25.4
売掛金及び 契約資産	168	23.6	111	15.9	△ 57	△ 34.1
棚卸資産	247	34.7	245	35.2	△ 1	△ 0.8
その他	23	3.3	9	1.4	△ 13	△ 59.7
流動資産	664	93.1	648	93.0	△ 16	△ 2.4
固定資産	49	6.9	49	7.0	—	—
<b>資産合計</b>	<b>713</b>	<b>100.0</b>	<b>697</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 16</b>	<b>△ 2.3</b>
流動負債	213	29.9	231	33.2	18	8.4
固定負債	36	5.1	36	5.3	0	1.4
負債合計	250	35.0	268	38.5	18	7.4
純資産合計	463	65.0	429	61.5	△ 34	△ 7.5
<b>負債純資産合計</b>	<b>713</b>	<b>100.0</b>	<b>697</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 16</b>	<b>△ 2.3</b>

主な内訳  
 ■商品及び製品 20百万円  
 ■原材料 225百万円

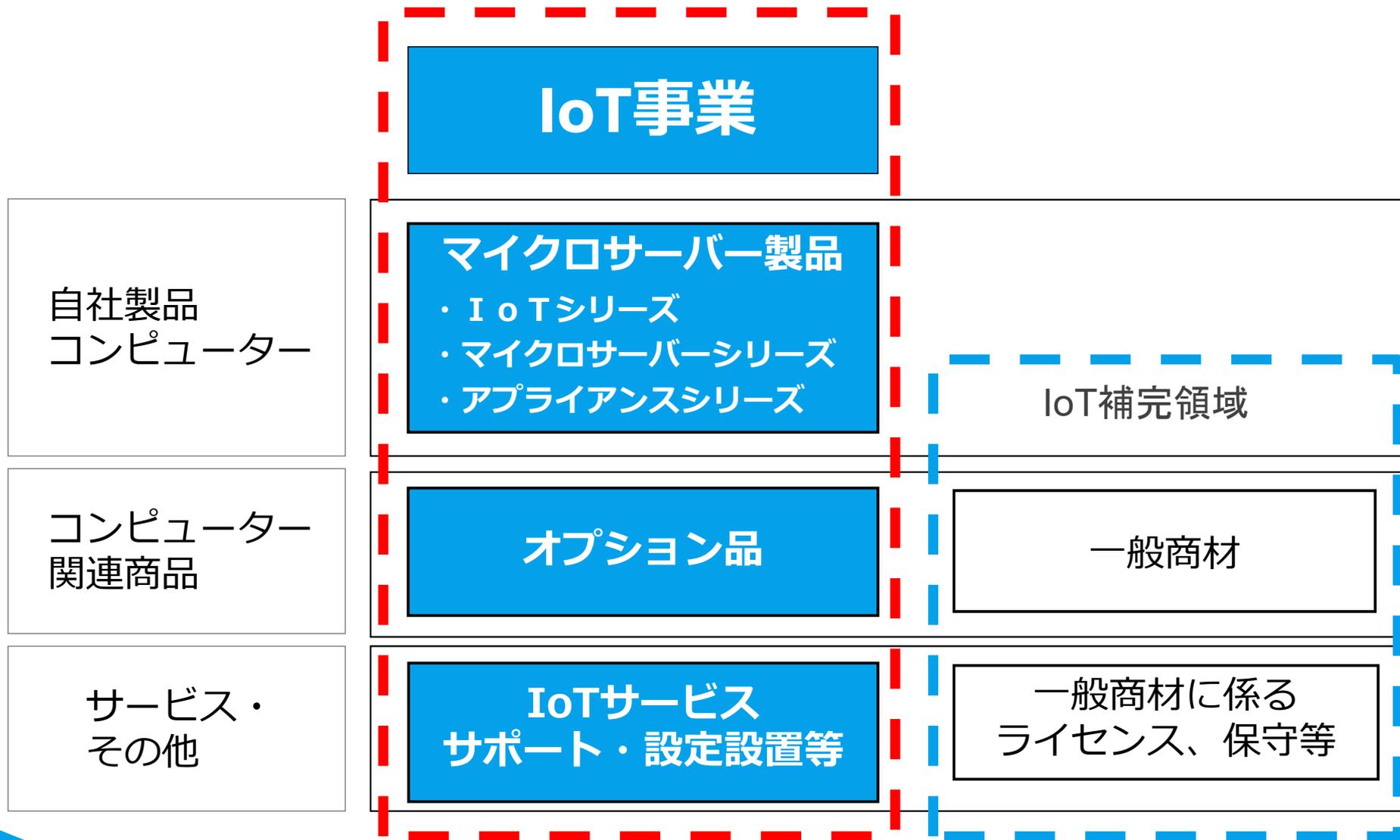
(単位 百万円未満切捨、%)

# 2023年度における当社事業

---

～従来型事業からの転換

# 事業構成



# ぷらっとホームの製品ラインナップ

## IoT・マイクロサーバー・ネットワーク製品



**OpenBlocks**

小型かつ堅牢  
可用性の高いマイクロサーバー



**OpenBlocks IoT**

最先端ソフトウェアFWを搭載  
したIoTゲートウェイ



**EasyBlocks**

シンプルに構築できる  
ネットワークアプライアンス



**OpenBlocks IDM**

BIツール・ハードウェア一体型  
IoT専用サーバー

## IoTサービス・ソフトウェア製品



**AirManage2**

デバイスリモートマネジメントサービス

IoTゲートウェイをリモート  
一括管理・制御・拡張

**Plat'Home**  
IoT Gateway  
Software  
**FW5**

IoTセンサー・デバイスとの  
プログラミングレスを実現する  
IoTゲートウェイソフトウェア

## IoTプラットフォーム製品

**PTPF™**

IoTのデータ取引を実現

IoTデータに取引情報を付加し  
データ流通を実現するIoT取引  
データ基盤

**DEXPF™**

IoTのトラストなデータ流通を実現

クラウドやサービス間を超えて  
データ連携可能なIoTデータ基盤

# 第二世代製品のモデル追加

コネクテッドな時代の顧客のユースケースに柔軟に対応可能な、マイクロサーバ/IoT第二世代製品群の投入を前倒し実行

## IoTゲートウェイ **OpenBlocks IoT FX1/E**



「OpenBlocks IoT FX1」の処理性能や安定性、またPoE対応等の利便性は変えることなく、ストレージを必要十分な容量にすることで、低価格に抑えた新製品

ノーコードでIoTデバイスや主要クラウドと接続するFW5を搭載  
データ利活用のさらなる促進と、IoT技術のより容易な導入をサポート

# 従来型事業からの転換

## ハードウェアで培った技術と実績をソフトウェアで幅広く展開

IoT・マイクロサーバー・ネットワーク製品



**OpenBlocks**

小型かつ堅牢  
可用性の高いマイクロサーバー



**OpenBlocks IoT**

最先端ソフトウェアFWを搭載  
したIoTゲートウェイ



**EasyBlocks**

シンプルに構築できる  
ネットワークアプライアンス



**OpenBlocks IDM**

BIツール・ハードウェア一体型  
IoT専用サーバー



**ハードウェア中心の事業形態から  
ソフトウェア・サービス中心の事業形態へ**

IoTサービス・ソフトウェア製品



**AirManage2**

デバイスリモートマネジメントサービス

IoTゲートウェイをリモート  
一括管理・制御・拡張

Plat'Home  
IoT Gateway  
Software  
**FW5**

IoTセンサー・デバイスとの  
プログラミングレスを実現する  
IoTゲートウェイソフトウェア

IoTプラットフォーム製品

**PTPF™**

IoTのデータ取引を実現

IoTデータに取引情報を付加し  
データ流通を実現する IoT 取引  
データ基盤

**DEXPF™**

IoTのトラストなデータ流通を実現

クラウドやサービス間を超えて  
データ連携可能なIoTデータ基盤

# ソフトウェア

これまでハードウェアアプライアンスとしてのみ提供されていた EasyBlocks に、仮想アプライアンス版が新たにラインナップ

## EasyBlocks Network Reporter 仮想アプライアンス

The screenshot displays the 'EasyBlocks Network Reporter' web interface. The top navigation bar includes 'ダッシュボード', 'サービス', 'システム', 'ネットワーク', 'メンテナンス', 'AirManage', and '技術情報'. Below this, there are tabs for 'ログ表示', 'ログ統計', '基本設定', 'フィルタ設定', 'ログ管理', '証明書管理', and 'レポート'. The main content area is titled 'フィルタ設定' and contains sections for 'フィルタリングルール エクスポート/インポート' and 'フィルタリングルール設定'. The 'フィルタリングルール設定' section shows a configuration for a rule named 'template\_rtx\_VPN切断'. Fields include 'ルール名(2)', '起点時刻', '終点時刻', 'ホスト(2)' (set to '192.168.10.109'), 'Facility' (with a grid of buttons like 'kern', 'user', 'mail', etc.), 'Priority' (with buttons like 'emerg', 'alert', 'crit', etc.), 'プログラム(2)', 'メッセージ(2)' (set to 'tunnel%Down'), and '除外メッセージ(2)'. The interface is clean and modern, with a dark header and light content area.

- Syslogサーバー及びヤマハ製ルーターに対応したレポート機能に特化
- 多拠点、複数機器のログを一括保存
- 各機器のログを可視化
- Web UIによりログ閲覧や設定作業が容易
- ネットワークの稼働状況を毎日レポート
- 容易なソフトウェアメンテナンス  
Webブラウザ上で一元管理
- リモートマネジメント機能「AirManage 2」

# 新規領域

## 慶應義塾大学SFC研究所との共同研究

### 「サイバーフィジカルワールドを実現させるための 現実的なプロトコルの研究」

慶應義塾大学SFC研究所の村井純教授、鈴木茂哉特任教授と、IoTシステムとブロックチェーン・システムを連動させるための、現実的なプロトコルの研究・開発

#### 研究の背景

IoT機器から生成されるデータ利活用の取り組みが進められていますが、異なるデータ形式や異なる通信方式を利用するシステム、業界を超えたIoTデータの利活用は容易ではありません。

ぷらっとホームとSFC研究所は、2020年より3年にわたり、ブロックチェーン技術をIoTに活用するための標準的なプロトコルの研究に取り組んでまいりました。

今年度を開始する新たな共同研究では、これまでの研究成果である標準的プロトコルを、さらに現実的な課題に適用し、実用段階に進めることを目指します。

# 新規領域

## 日本酒輸出増実証プロジェクトの開始

日本国内における地域産の日本酒の輸出拡大を図るための経済的かつ安定的な輸出物流ネットワークの構築を目指すことを目的とする協議会「日本酒輸出増プラットフォーム実証推進協議会」を設立

協議会は、地域産日本酒の輸出に適した新しい輸出物流のモデル構築を行う実証プロジェクト「日本酒輸出増プラットフォームモデル実証プロジェクト」を本年より開始  
本プロジェクトは、令和5年度農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち輸出物流構築緊急対策事業（令和4年度補正）における補助金交付候補に選定

### 協議会構成企業

- ・秋田清酒株式会社
- ・浅舞酒造株式会社
- ・合名会社栗林酒造店
- ・イーシップ株式会社
- ・ぷらっとホーム株式会社
- ・三井住友海上火災保険株式会社

### プロジェクト参加専門企業

- ・三菱倉庫株式会社
- ・株式会社日立ソリューションズ
- ・協栄産業株式会社
- ・イノラックスジャパン株式会社
- ・日本ガイシ株式会社



温度検知 QR コードラベルを用いた日本酒輸出品質向上の例

# Plat'Home × IoT

---

## 事業戦略

# 中期事業戦略 コネクテッドワールドの成長機会は無限

新しいテクノロジーの出現

社会の大きな変化

IoT/分散型台帳技術/AIにより、サイバーワールド（電子空間）とフィジカルワールド（物理社会）の連携がさらに強化される

コロナウイルスによる  
社会変化の加速

2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 . . . 2030

## プロダクト投入

- ・ IoTゲートウェイプロダクト：OpenBlocks IoT シリーズ
- ・ IoTゲートウェイソフトウェア：FW5
- ・ マネジメントプロダクト：AirManage 2

## サービス型事業モデルへの転換

- ・ サブスクリプションの導入
- ・ スtock型ビジネスへの開発投資

## パートナーアライアンスの拡充

- ・ IoTデバイス・ソリューション パートナー

## 社会変化によるIoTの必然化

- ・ エネルギーや効率化へのニーズ
- ・ 持続的な社会への要求

## IoT市場へのさらなる浸透

- ・ 市場ニーズに的確に対応した製品供給
- ・ 都市IoTなど主要用途の開拓・浸透
- ・ サービス提供による継続的価値実現
- ・ ソフト分野フォーカスによる新たな成長
- ・ パートナー協業による顧客課題の解決

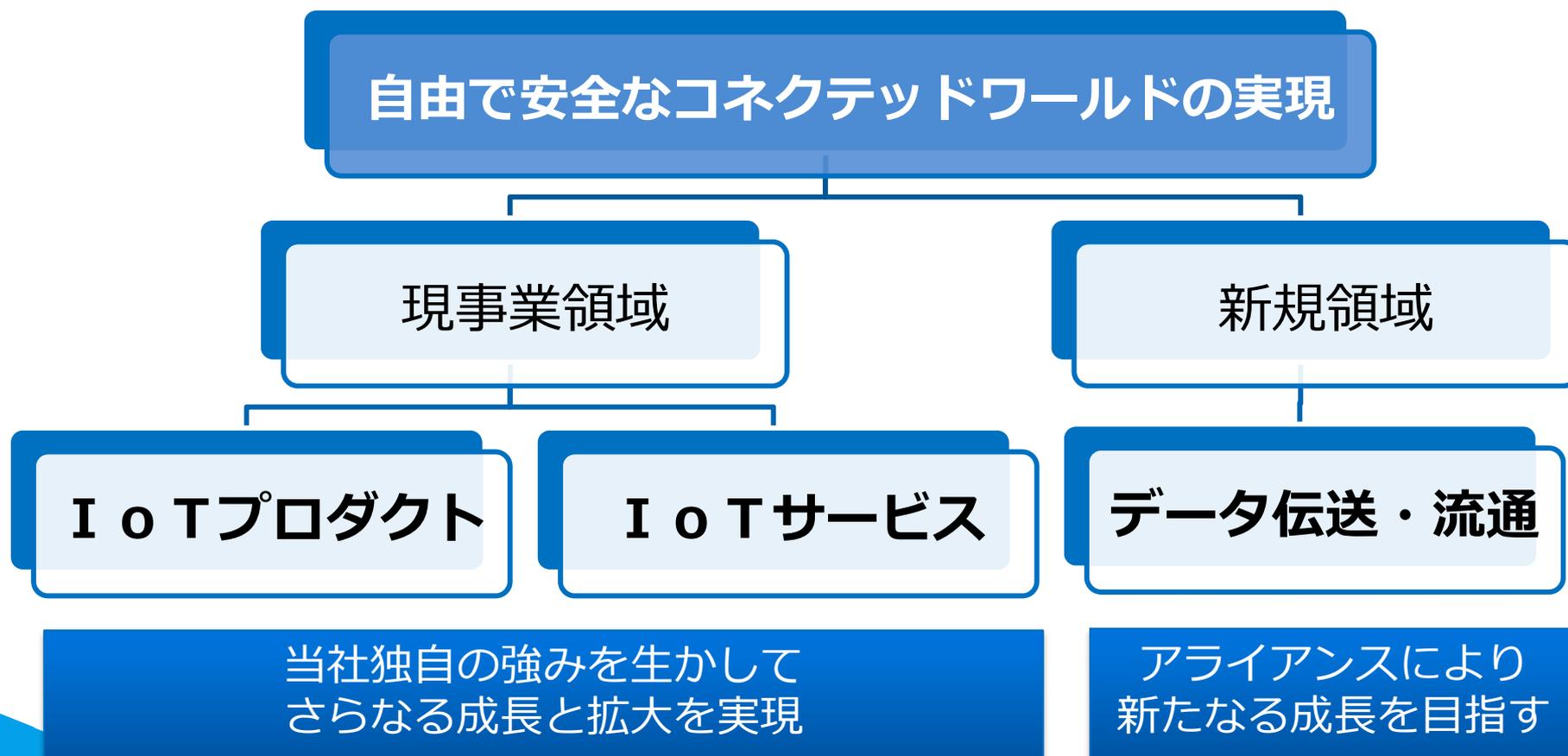
## 重要ニーズへの対応

- ・ IoTデータ流通への対応
- ・ 分散型台帳技術のIoT利用
- ・ IoT製品に付帯したセンサー等の周辺商品の販売強化

自由で安全なコネクテッドワールドの実現

# 事業展開 独自成長とアライアンス両面での成長

当社は3つの事業を通じて  
「自由で安全なコネクテッドワールド」  
の実現を目指します。



# 主要事業 IOT事業

普及期に入った製品需要に対応した顧客接点の充実

## 1 ユーザーへの適切なサポート

- 顧客との対話の深化・拡大
- 適切なパートナーを通じたサポートの強化
- 顧客をサポートするパートナー企業への技術・販売支援の充実

## 2 パートナープログラムの拡充

- 適合するセンサー・デバイスの拡充
- パートナーとの販売面での協業

## 3 パッケージ製品によるソリューションの提供

- センサー・デバイスと組み合わせたソリューションパッケージの投入
- アプリケーションを搭載したアプライアンス製品の投入

# パートナーシップ

## IoTデバイス・ソリューションパートナープログラム

各メーカーの連携により、接続性の高いシステム構築と、ワンストップによるわかりやすい情報提供、IoT市場の認知・拡大を目指した協業プログラム



IoT Device Solution  
Partner Program

## IoTセンサー・デバイスパートナー

- ・エイブリック株式会社
- ・アルプスアルパイン株式会社
- ・英和株式会社
- ・エレックス工業株式会社
- ・EnOcean GmbH
- ・株式会社フォーカスシステムズ
- ・富士通株式会社
- ・富士通コンポーネント株式会社
- ・I-PEX株式会社
- ・因幡電機産業株式会社
- ・株式会社インタープロ
- ・アイテック株式会社
- ・丸紅情報システムズ株式会社
- ・ナカヨ株式会社
- ・日本セラミック株式会社
- ・オカバマーケティングシステム株式会社
- ・沖電気株式会社
- ・オムロン株式会社
- ・オプテックス株式会社
- ・パトライト株式会社
- ・ラトックシステム株式会社
- ・株式会社リコー
- ・セイコーインスツル株式会社
- ・ソナス株式会社
- ・トッパン・フォームズ株式会社
- ・東洋エレクトロニクス株式会社
- ・ユニ電子株式会社
- ・ワッティー株式会社

## IoTソリューションパートナー

- ・株式会社ファンブライト
- ・株式会社マクニカ

## パッケージパートナー

自社のIoTデバイスと当社のIoTゲートウェイなどを組み合わせ、機器の接続などの設定がなされた状態で販売されるIoTのパッケージ製品を取り扱うパートナー

- ・オプテックス株式会社

プログラム加入企業 2023年7月現在（敬称略）

# ソフトウェア・サービス型事業へ転換を加速

## 1 IoTをコア技術としたWeb3領域への参入

- ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入
- データ流通サービスの実証開発
- 本番運用を想定したより本格的な実証検証の実施
- アライアンスの推進  
⇒「日本酒輸出増プラットフォームモデル実証プロジェクト」開始

## 2 ソフトウェアを源泉とした収益化

- アプライアンス製品の強化を継続
- IoTソフトウェア（Framework）による強みの拡大  
⇒「Easy Blocks Network Reporter 仮想アプライアンス」提供開始

# 当社事業による社会貢献



## 環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

## SDGsへの取り組み

- SDGsによって目標、ターゲットが具体的に明示されたことを機に、改めて当社事業が社会課題の解決に役立つかを整理した。当社の事業は多くの社会課題と関係し、またその解決の一助となっていることを再認識し、当社事業の進展により社会課題の解決につながることから、全社一丸で取り組む。

## 今後の取り組み

- 当社事業によりフィジカルワールドとサイバーワールドを結び付け、①より利便性の高い社会を実現すること（地方公共団体・電力会社・交通・物流・公共施設へのサービス提供）、②より安全な社会を実現すること（地方公共団体・教育機関・医療機関・警備・保険・セキュリティ会社へのサービス提供）、③より豊かなくらしづくりを実現すること（ビルマネジメント・ビル設備・照明システム、自動車・エネルギー・各種製造業・建設業へのサービス提供）を目標に取り組む。

# Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

(注) スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。